

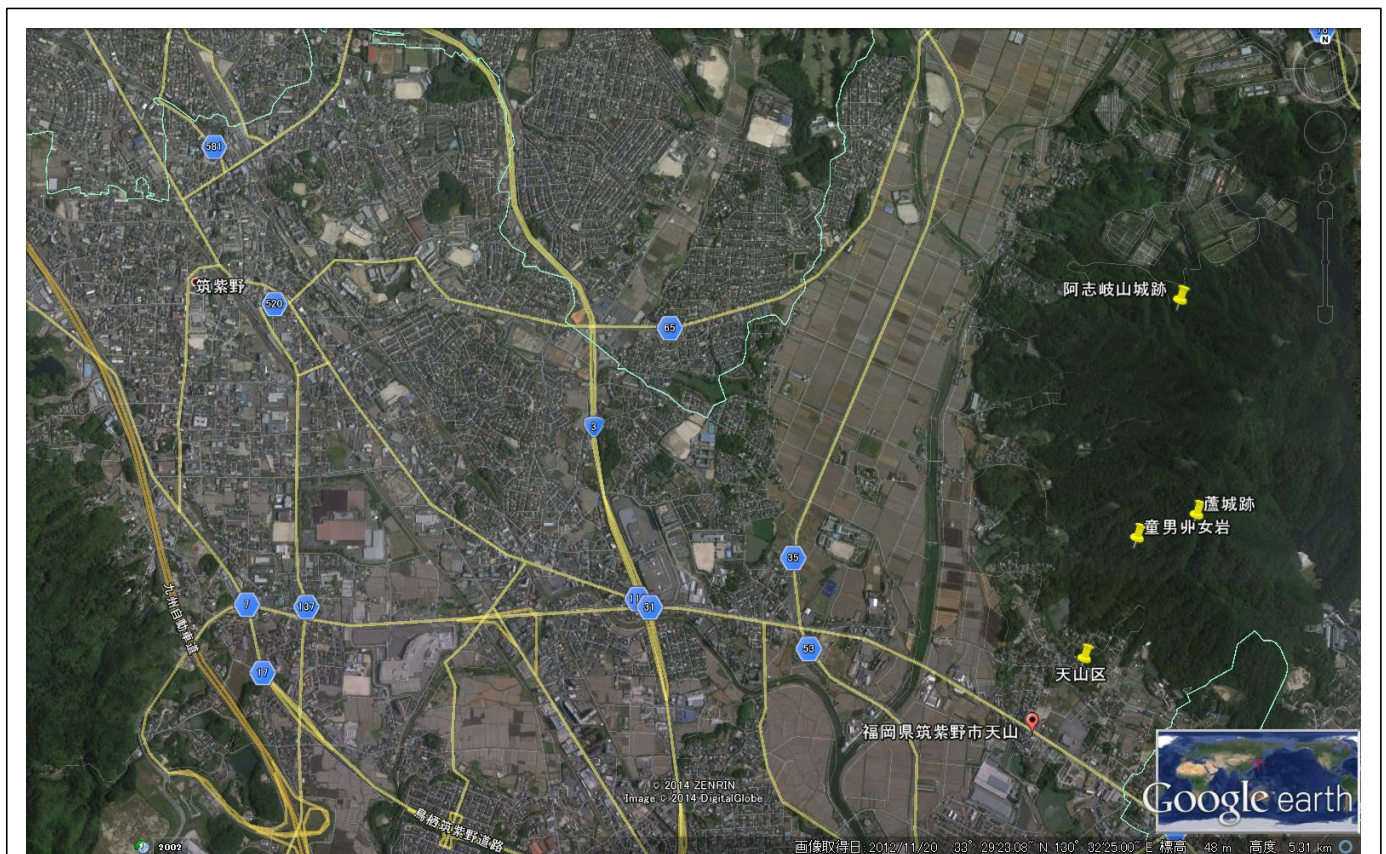
H26年度「天山里山保全活動組織」報告

農林水産省：森林・山村多面的機能発揮対策事業交付金の活動報告

H25年度に続いて、天山共有林管理組合組合員と天山ふれあい会会員

- でつくる「天山里山保全活動組織」は、
1. 0.5haの雑木除伐採作業
 2. 宮地岳西麓の生態モニタリング調査を実施しました。

◆活動場所と活動内容



1. 童男少女岩付近の「地番天山258-1、面積83,831 m²」の一部の0.5haの雑木除伐採。
2. 宮地岳西麓の生態モニタリング。

活動1

「『天山集落を砂災害から守る』や『水源の里山を守る』との熱い思いのもと、参加者36人、11月17日8時半から12時半まで、雑木林に光を当てるための伐採作業をしました。

●作業の実際、チェーンソー1台につき5人～6人の作業者の班を構成して、事故がないように作業に頑張りました。安全確保のため、ヘルメット着用。疲れると事故が起こりやすいので、およそ50分作業10分休憩を3回実施。



●急斜面での作業はとても難しい作業でした。チェーンソーでの伐採は足場確保に苦労。エンジンをかけたままの移動禁止厳守



●やや切り開かれたので、作業ははかどりましたが、チェーンソー作業者は、やはりきつかったと思います。



●切り倒した雑木はそのままにく、きれいに大きく積みあげると、見た目にはいいのですが、大雨の時は、その積み上げた樹木が堰を作り、どっと流れ落ちることがあると指導を受けました)



●休憩のときの世間話：作業を共有する体験とともに大事な心の共有です。



●休憩後作業再開 11:30



四、面倒でも真面目に手順通りに実行しよう！安全第1 基本姿勢をまもること。徹底して①～⑤を確認。①伐倒方向（前方よし）倒す方向をしっかりと見定める ②周囲よし ③足元よし ④上方よし（ツルが絡んでないかどうか） ⑤木が倒れ出した時、退避場所確認（退避よし）

●12時30分に作業が終わり、記念写真。お互い頑張りました。本当にお疲れ様でした。



●作業前の森林と除伐採後の森林

①. 天山ふれあい会班作業前→作業後



②. 上中組班作業前→作業後



③. 下組班作業前→作業後



『天山里づくり“夢“を共有しよう！里地里山を未来遺産に！』

のもと、微々たる力ではありますが、森林を守り、水源保全のため、手足を動かして、次世代につないでいきましょう！！

『地球環境を守る、地元の足元の環境を守る』には「こうしたらいい」「ああしたらいい」とかんがえるだけでは、現実の事態は変えることができません。手足を動かして事態を好転させるしか手はないのです。

活動2

地球温暖化の推移を見守るために、宮地岳西麓の動植物、昆虫の定点観測を継続的に行う。